



今月の注目製品
PRODUCTS WAVE

PRODUCTS WAVEでは、編集部注目の話題の新製品を紹介します。

SDメモリーカード対応の “ウェアラブル”なオーディオプレイヤー

松下電器産業は、SDメモリーカードを記録メディアに採用した携帯オーディオプレイヤー「SV-SD70」を6月30日に発売する。

「SV-SD70」(写真左)は、幅46×高さ48×奥行き15mmに、重さ約55gというコンパクトサイズ。ストラップで首からさげたり、リストバンドに装着して腕時計風にご利用したりすることもできる。また、反転液晶パネルを搭載しており、12文字×2行まで表示できる。電源は単4型アルカリ乾電池で、1本で約4時間の連続再生が可能だ。圧縮フォーマットにはAACを採用し、64MBのSDメモリーカードを使った場合、ビットレート128kbpsの高音質モードで約64分、64kbpsの長時間モードでは129分記録できる。本体のほかに、ケース、ヘッドフォン、64MBのSDメモリーカード、リストバンド、ネックストラップ、USBリーダーライター、CD-ROMなどが付属する。

また、同時にヘッドフォン一体型モデル「SV-SD01」(写真右)も発表された。こちらの発売日は7月10日となる。

文字表示機能と時計機能が省略された以外は、「SV-SD70」の仕様と等しいが、重さは電池込みで104gになる。付属品はケース、64MBのSDメモリーカード、USBリーダーライター、CD-ROM。CD-ROMはいずれもウィンドウズ98対応。

また、同社はSDメモリーカード対応のデスクトップPCやメール端末を今夏に発売する予定。

www.Panasonic.co.jp/avc/audio/
松下電器産業株式会社
標準価格(税別): 49,800円
(SV-SD70、SV-SD01)



メモリー内蔵型ネットワークウォークマン

ソニーは、内蔵型フラッシュメモリ(64MB)を記録メディアに採用したネットワークウォークマン「NW-E3」を6月10日より発売する。

本体のサイズは、幅81×高さ32×奥行き14.6mmに重さ45gと、「小型ライター」のようなコンパクトサイズを実現したという。圧縮フォーマットはATRAC3で、ビットレート105k bpsの標準モードで約80分録音できる。単4型アルカリ乾電池1本で約5時間、付属の単4型ニッケル水素充電電池なら約4時間の連続再生が可能。なお、ソニーのショッピングサイト「ソニースタイル」では、同製品に12種類の中から好みのヘッドフォンを組み合わせる購入できるサービスも提供していく。

www.sony.co.jp
 www.jp.sonestyle.com/Style-b/Meets_wm/
株式会社ソニー
標準価格: オープンプライス



メールライフを楽しく演出! コムスターズルーターに新モデル登場

日本電気株式会社は、女性を中心とする初心層をターゲットとしたダイヤルアップルーター「コムスターズ・ネオ」(写真左)を6月30日より発売する。液晶ディスプレイのカットや、LANポートを1つに削減するなど、個人向けに特化した独自の路線を目指すという。

よって、重点が置かれているのはメール機能。ボタン1つで着信メールが確認でき、新着メールがあった場合はメロディーが流れる「着メロ」機能を搭載している。

一方、同時にIEEE802.11b準拠のコムスターズシリーズ・ワイヤレスセット「CMZ-RT-WS」(写真右)も発表された。アクセス

ポイント「CMZ-RT-WA」と、PCカード「CMZ-RT-WP」からなり、発売日は6月3日。コムスターズシリーズと組み合わせることで、11Mbpsの無線通信が実現する。環境にもよるが、通信できる距離は約80mまで。

ccsd.biglobe.ne.jp/comstarz/
日本電気株式会社
標準価格(税別): 34,800円(コムスターズ・ネオ)、
54,800円(CMZ-RT-WS)、38,800円(CMZ-RT-WA)、
19,800円(CMZ-RT-WP)



OpenMGスロット搭載 スタミナ抜群のバイオノート新モデル

ソニーは、「バイオノートSR」をはじめとするノートPCの新製品を発表し、ラインアップを一新した。各シリーズには、ウィンドウズ 2000 Professionalをプレインストールしたモデルも登場している。

注目の「バイオノートSR」は、モバイルPentium 600MHzを搭載した「SR9/K」と、モバイルCeleron 450MHzを搭載した「SR1/BP」の2モデルが用意され、SR1/BPは5月27日、SR9/Kは近日中に発売される。

SRシリーズでは、バッテリー駆動時間がSR9/Kで最長5.5時間、SR1/BPで5時間となった。さらに、MagicGateメモリースティックに対応したOpenMGスロット

をPC本体に初めて搭載。音楽配信サイトからファイルをMagicGateメモリースティックにダウンロードし、そのまま「MS Walkman」で再生できるようになった。i.LINK端子やジョグダイヤルなど、ソニーおなじみの機能も健在だ。

www.vaio.sony.co.jp
株式会社ソニー
標準価格：オープンブライズ



手軽なISDN専用インターネット端末

NTT東日本および西日本は、ISDN専用インターネット端末「ブチウェブ」の販売を5月8日より開始した。接続の設定やプロバイダーへの申込みなどを簡略化し、初心者でも購入したその日からインターネットを利用できる環境を提供する。ホームページの閲覧や電子メール機能に特化することで、PCに比べて安価な価格を実現した。

ただし、対応するISDN用ターミナルアダプターは、NTTが販売する3機種のみで、プリンターもオプションとして販売されるエプソン「PM-670C」のみの対応となる。

さらに、利用できるプロバイダーは「ぶらら」1社のみ。量販店などでは販売されず、NTTからの直販となる。

www.ntt-east.co.jp
www.ntt-west.co.jp
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社
標準価格：29,800円



cdmaOne対応のカーナビが続々と登場

各社よりcdmaOne端末に対応した製品が発表され、カーナビによるデータ通信の高速化が実現した（従来は9600bpsのみ）。

パイオニアのCARROZZERIA「AVIC-D9100」は、通信用の携帯電話としてcdmaOne端末が利用でき、さらに端末がPacketOne対応の場合は、パケット通信でインターネットを利用できる。なお、cdmaOne端末を接続するには別売りの専用アダプター（18,000円）が必要。5月下

旬より販売が開始される。

また、ケンウッドもcdmaOne端末に対応した「DVZ-2200」シリーズ（写真右はDVZ-2200TV）を6月中旬より発売する。通信モデムを内蔵することにより、別売りのケーブル（写真左、8,800円）と携帯電話をつなぐだけでインターネットに接続できるようになった。

www.pioneer.co.jp
www.kenwood.co.jp
パイオニア株式会社
標準価格：178,000円（AVIC-9100）
株式会社ケンウッド
標準価格：168,000円（DVZ-2200）



Liquid Playerの 日本語版がリリース!

リキッドオーディオ・ジャパンは、音楽再生ソフト「Liquid Player」の日本語版を発表した。現在、同社のサイトから無料でダウンロードできる。

今回初めて発表されたLiquid Playerの日本語版は、英語版のバージョン「5.2」に当たる。基本的な機能は英語版と同様だが、独自の機能としてCDのリッピング機能が搭載されている。CDの音源をLiquidAudioの独自形式「LQT」に変換できるほか、CDDDBに接続して曲の情報をインターネットから取得できる。

なお、対応OSはウィンドウズ版は95/98、2000、NT(service pack3以上)、マック版はMacOS 7.5.3以降となる。

www.liquidaudio.co.jp
株式会社リキッドオーディオ・ジャパン





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp